

令和5年9月定例会の結果（9月13日から10月11日まで 会期29日間）

1 市長提出議案 2 議員提出議案 3 議員提出議案資料 4 その他（手続）

【掲載に当たっての説明】

会派名	自民党（自由民主党静岡市議会議員団）
	創生静岡
	志政会
	公明党（公明党静岡市議会）
	共産党（日本共産党静岡市議会議員団）
	緑の党（緑の党グリーンズジャパン）
	街づくり（街づくり研究会）

○は賛成、×は反対、△は賛否双方あり

1 市長提出議案

(1) 9月13日提出、同日議決（1件）

諮問番号	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
3	人権擁護委員の推薦について	賛成	○	○	○	○	○	○	○

(2) 9月13日提出、同日議決【その他議案】（1件）

議案番号	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
133	静岡市土地利用審査会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○

(3) 9月13日提出、10月11日議決【決算議案】(18件)

認定	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
1	令和4年度静岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	×	×	○
2	令和4年度静岡市電気事業経営記念基金会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
3	令和4年度静岡市土地区画整理清算金会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
4	令和4年度静岡市母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
5	令和4年度静岡市公債管理事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
6	令和4年度静岡市競輪事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
7	令和4年度静岡市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
8	令和4年度静岡市農業集落排水事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
9	令和4年度静岡市駐車場事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
10	令和4年度静岡市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
11	令和4年度静岡市介護保険サービス会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
12	令和4年度静岡市中央卸売市場事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
13	令和4年度静岡市後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
14	令和4年度静岡市立静岡病院事業債管理事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○

15	令和4年度静岡市簡易水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
16	令和4年度静岡市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
17	令和4年度静岡市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
18	令和4年度静岡市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	×	○	○

(4) 9月13日提出、10月11日議決【補正・その他議案】(17件)

議案番号	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
134	令和5年度静岡市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
135	静岡市職員の給与に関する条例及び静岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
136	静岡市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
137	静岡市生涯学習施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
138	静岡市旅館業法等施行条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
139	静岡市産学交流センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
140	静岡市教育職員の給与に関する条例及び静岡市立小学校及び中学校の教育職員等の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
141	静岡市立学校設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
142	静岡市火災予防条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
143	静岡市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
144	はしご付消防ポンプ自動車の購入について	可決	○	○	○	○	○	○	○
145	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○
146	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○

147	令和4年度静岡市簡易水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○
148	令和4年度静岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○
149	令和4年度静岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○
150	令和4年度静岡市下水道事業会計資本剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○

(5) 9月26日提出、10月11日議決【補正・その他議案】(5件)

議案番号	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
151	静岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
152	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○
153	令和2年度静岡市病院事業会計予算第9条の経費の金額の流用に関し、追認の議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○
154	令和4年度静岡市病院事業会計予算第9条の経費の金額の流用に関し、追認の議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○
155	令和4年度静岡市下水道事業会計予算第9条の経費の金額の流用に関し、追認の議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○

(6) 10月11日提出、同日議決【補正・その他議案】(3件)

議案番号	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
156	令和5年度静岡市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
157	損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○
158	損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○

2 議員提出議案

(1) 10月11日提出、同日議決(4件)

発議番号	議案名	結果	自民党	創生静岡	志政会	公明党	共産党	緑の党	街づくり
6	マイナンバーカードの安全と信頼の確保の取組を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
7	一級河川安倍川・藁科川の河床上昇対策の促進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
8	ニホンカモシカ及びツキノワグマの適切な保護管理の推進に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
9	南アルプスの自然環境に配慮したリニア中央新幹線建設事業に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○

3 議員提出議案資料

●発議第6号 マイナンバーカードの安全と信頼の確保の取組を求める意見書

国が普及を進めているマイナンバーカードは、現在、人口の約80%に当たる9,797万人が申請しているが、次々と問題が明らかになっている。令和5年6月時点の報道によると、マイナンバーと一体化した保険証に他人の情報を登録していた件数は7,300件、公金受取口座を他人のマイナンバーに登録していた件数が748件、家族名義の口座を登録していた人に至っては13万人を上回るなど、マイナンバーカードの信用を揺るがす事態となっている。

そのほかにも、マイナポイントを誤って他人に付与していたことや、マイナンバーを活用した住民票の写しなどの交付で、別人の証明書を交付していたり、本人が希望していないのにマイナンバーカードと健康保険証を一体化していたなど、不具合が多岐にわたるとともに、これらに関し、デジタル庁は2月に把握していたにもかかわらず、対策を怠っていたことが明らかとなった。

国は人為的ミスと強調しているが、金融機関の口座登録などを含め、システム的な問題も浮き彫りになっている。政府は一連のトラブルを受けて、既存データやシステムの「総点検」を進め、信頼されないままマイナンバーカードの利用をさらに推し進めようとしているが、まずは、政府が国民の間に生じた様々な不安を払拭する必要がある。

政府は、こうした様々な問題が再発することのないよう、今後、速やかに万全のセキュリティーを講じるとともに、国民が安心して、デジタル社会の利便性を享受できる環境整備に向けた取組を進めるべきである。その上で政府が、来年度秋に実施しようとしている、従来の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一体化することについては、その実施時期にこだわることなく、国民の理解を十分得るよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

〔提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、デジタル大臣〕

●発議第7号 一級河川安倍川・藁科川の河床上昇対策の促進を求める意見書

安倍川は、その源を静岡県静岡市と山梨県南巨摩郡早川町の県境に位置する大谷嶺（標高約2,000メートル）に発し、中山間部を流れ、藁科川と合流して、静岡市街地を貫流し駿河湾にそそぐ、幹川流路延長51キロメートル、流域面積567平方キロメートルの一級河川である。

安倍川・藁科川の扇状地は、表流水に加え、伏流水や地下水が豊富であり、その豊かな水の恵みは、市民の飲料水のほか、生活用水や地域の農業・工業用水等に利用され、市民生活や地域の経済活動を支えてきた。

このような中で、河川管理者である国においては、これまでも堤防、護岸の整備や強化、河道掘削、さらには、防災・減災対策等強化事業推進費により緊急対応として、低水護岸の整備を順次実施し、流域住民の安全確保に大きく貢献してきた経過がある。

一方で、近年、気候変動が原因とみられる豪雨により、古くより、日本三大崩れの1つである大谷崩をはじめとする上流部の崩壊地から多量の土砂が流出したことで、下流域において河床高が高水敷高程度まで上昇するなど、洪水の流下の支障となる状況になっており、市民は大きな不安を感じている。

昨年9月、台風第15号が襲来した際には、安倍川の手越観測所において、平成以降の水位として最高を観測し、一時氾濫危険水位を超過した。これにより、安倍川の氾濫は現実的に危機的状況に陥ったとともに、多くの市民が不安を強く抱くこととなった。

こうしたことから、国においては、本市流域部の地域住民の生命及び財産を守るとともに、今後も安全・安心な生活を営み続けられるよう、河道掘削の実施による河床上昇対策をより一層促進するよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

〔提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、環境大臣〕

●発議第8号 ニホンカモシカ及びツキノワグマの適切な保護管理の推進に関する意見書

静岡市では、野生鳥獣による農林業被害の軽減に向け、防護柵の設置等による防除、林縁部の刈払い等、動物と人間の緩衝地帯の整備、被害防止目的の捕獲などの対策を複合的に組合せ、総合的な対策を進めている。

そのような中、野生鳥獣の捕獲については、狩猟免許の取得促進や罟の貸出し、捕獲報償金の支給など様々な施策を組合せ、推進を図っているが、特別天然記念物のニホンカモシカや、ツキノワグマについては、法的規制や慣習等により、被害に対して迅速に対応できない事例が出てきている。

ニホンカモシカについては、「天然記念物の種の指定から地域指定への転換をはかる。」という、昭和54年に文化庁、環境庁（当時）、及び林野庁のいわゆる三庁合意が行われ40年以上が経過するが、依然として、地域指定への転換がなされていない。

本市では、新植造林地の幼木の食害、ワサビや茶などへの農業被害など、農林業者からその対応に苦慮しているという声が多く寄せられている。また、都市部への侵入や沿岸部でも新たに生息情報が得られるなど、生息域の拡大による被害の増加が懸念されている。

ツキノワグマについては、静岡県は平成4年以降、狩猟の自粛を要請するなどして、保護に努めているが、平成17年の県生息調査報告書において、「近年、個体数増加、分布域回復の傾向が認められる」との記載がある。自粛から30年以上が経過した現在においては、県内の生息状況はさらに大きく変化しているものと推測される。地域個体の維持と被害軽減の両立を図るため、防除を前提としながら、ツキノワグマの捕獲数の上限を引き上げた秋田県などをはじめ、保護管理施策を修正する自治体も出始めている。本県においても、ツキノワグマの生育状況などに関して詳細な調査を行い、改めて、適切な保護管理を検討すべき時期に来ているものと考えられる。

これらのことから、下記事項について要望する。

記

1 特別天然記念物のニホンカモシカについて、いわゆる三庁合意の実現をはかり、早期に地域指定移行に向けた取組を実施し、適切な保護管理に努めること。また、三庁合意の履行が困難な場合は、新たな枠組みを設定し、地域指定に向けた取組を開始すること。

2 ツキノワグマについて、県内の生息範囲、生息密度、個体数等に関する調査を実施し、調査結果に基づく保護管理方針を定めること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

〔提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、環境大臣、文化庁長官、林野庁長官、静岡県知事〕

●発議第9号 南アルプスの自然環境に配慮したリニア中央新幹線建設事業に関する決議

リニア中央新幹線整備は、平成26年に国土交通省の許可を得て大プロジェクトとして進められている一方で、大井川の水問題、建設発生土の処理、南アルプス高山帯の生態系への影響等、様々な環境影響に関する問題が提起されてきた。

南アルプスの自然や生き物の恩恵を大いに受けてきた静岡市民の代表として、本市議会では同年に「リニア中央新幹線建設事業に関する決議」を全会一致で可決し、静岡県、静岡県議会及びJR東海に対して、南アルプスの自然環境の保全、ユネスコエコパークとの整合を図ることを絶対条件とするなど自然環境や地域文化、また周辺・下流域住民の安全・安心な生活の確保に十二分に配慮することを求めている。

静岡県内では唯一リニア中央新幹線が通過する本市は、JR東海と「リニア中央新幹線の建設と地域振興に関する基本合意書」を取り交わしている。その中で、相互に連携・協力して誠実に本事業に取り組むこととなっており、とりわけ井川地区と玉川地区を結ぶトンネルの新設については、地域振興の観点に加え、リニア中央新幹線整備期間中の安全対策の面からも、早期の供用開始が期待されている。

自然環境への影響については、国の有識者会議等で専門家による議論が行われているところであるが、国、静岡県、静岡市、JR東海が一丸となり、我が国の叡智を結集し、南アルプスの自然環境が損なわれることがないように今一度強く訴える。

以上、決議する。

静岡市議会

4 その他（手続）

(1) 9月26日 決定

件名	結果	内容
議員の派遣	決定	派遣目的 税財政関係特別委員長会議（WEB会議）出席のため 派遣場所 静岡庁舎本館2階 議会特別応接室 派遣日 令和5年10月5日（木） 対象 繁田和三

(2) 10月11日 決定

件名	結果	内容
議員の派遣	決定	派遣目的 2023 ROUTE 日本海－太平洋促進大会出席のため 派遣場所 北杜市須玉ふれあい館ホール（山梨県北杜市須玉町若神子 521-17） 派遣日 令和5年10月25日（水） 対象 丹沢卓久、白鳥 実、内田隆典、稲葉寛之
	決定	派遣目的 静岡市立高等学校 派遣場所 「市議会議員と話そう～静岡市立高校～」参加のため 派遣日 令和5年11月8日（水） 対象 浜田佑介、白濱史教、加藤博男、高木 強、寺澤 潤、寺尾 昭
	決定	派遣目的 「市議会議員と話そう～静岡北高校～」参加のため 派遣場所 静岡北高等学校 派遣日 令和5年11月9日（木） 対象 長島 強、宮澤圭輔、堀 努、後藤哲朗、宮城展代、松谷 清
	決定	派遣目的 「市議会議員と話そう～常葉大学附属常葉高校～」参加のため 派遣場所 常葉大学附属常葉高等学校 派遣日 令和5年12月19日（火） 対象 長沼滋雄、鈴木直人、稲葉寛之、山梨 涉、池谷大輔、福地 健
	決定	派遣目的 「市議会議員と話そう～常葉大学附属橘高校～」参加のため 派遣場所 静岡庁舎本館3階 第3委員会室 派遣日 令和5年12月20日（水） 対象 市川 正、児嶋喜彦、宮城島史人、島 直也、大石直樹、白鳥 実
	決定	派遣目的 「市議会議員と話そう～清水桜が丘高校～」参加のため 派遣場所 静岡市立清水桜が丘高等学校 派遣日 令和5年12月21日（木） 対象 小山 悟、山本昌輝、平井正樹、栗田裕之、畑田 響、大村一雄
	決定	派遣目的 「市議会議員と話そう～静岡雙葉高校～」参加のため 派遣場所 静岡庁舎本館3階 第3委員会室 派遣日 令和5年12月22日（金） 対象 天野正剛、杉本 護、石井孝治、尾崎行雄、望月俊明、山根田鶴子